

西会津町 HP掲載資料

YOBARUKA  
×  
UTokyo


東京大学 × 呼賀集落

よばるか集落再生プロジェクト

# よばるか 呼賀集落

## 集落概要

- |       |   |
|-------|---|
| ①所在地  | 福島県西会津町笹川   |
| ②人口   | 43人（令和8年1月現在）                                     |
| ③世帯数  | 17世帯  |
| ④特徴   | 観音堂、棚田、豪農の古民家                                     |
| ⑤高齢化率 | 58.1%   |
| ⑥課題   | 集落維持の担い手不足<br>耕作放棄地の増加・交流人口の減少<br>地域絆力の低下・地域文化の消失 |

An aerial photograph taken from a high angle, looking down into a lush green valley. In the foreground, a series of terraced fields are visible, arranged in a grid-like pattern with narrow paths between them. The fields appear to be recently tilled or planted, with a dark, moist soil color. The surrounding landscape is dominated by dense, vibrant green forests that cover the rolling hills and mountainsides. In the middle ground, a small village or settlement is nestled in a valley, with several buildings and a winding road visible. The background shows more distant, hazy mountain ranges under a bright sky, suggesting a sunrise or sunset. The overall scene is peaceful and scenic, highlighting the integration of agriculture and nature in a mountainous region.

ドローン空撮  
集落のすぐ上にある棚田



ドローン空撮  
飯豊山のおひざもと





ドローン空撮  
里山に降る雲海（大阪・関西万博内で使用）



ドローン空撮  
車で3分で雲海が見える



ドローン空撮  
集落どうしの境

# 変革はいつも辺境から

日本“古来”の原風景が息づく場所  
呼賀（よばるか）集落

里山に土地の記憶が残る風景が広がり、農家民宿  
「ごしょうまき」や新郷六観音といった歴史と文化  
が今も大切に受け継がれています

写真：  
ドローン空撮  
集落概観（上）  
早朝の雲海（下）



# 大学の知を惹きつける、地域に眠る豊かな資源

課題の裏には、学術的な探求と実践の場として最適な「生きたフィールド」が存在しています。



ごしょうまき内観

集落概観



雪国体験

- **歴史的建造物**：築百数十年の古民家（ごしょうまき）や観音寺
- **自然環境**：四季折々の表情を見せる里山と棚田
- **地域文化**：世代を超えて受け継がれる土地の記憶と知恵

# 課題：過疎化が引き起こす負の連鎖

## 【Stage 1】人口減少・担い手不足

水路の草刈りや農道補修など、暮らしのライフラインである集落の共同作業（人足）が困難に

## 【Stage 2】景観と安全の崩壊

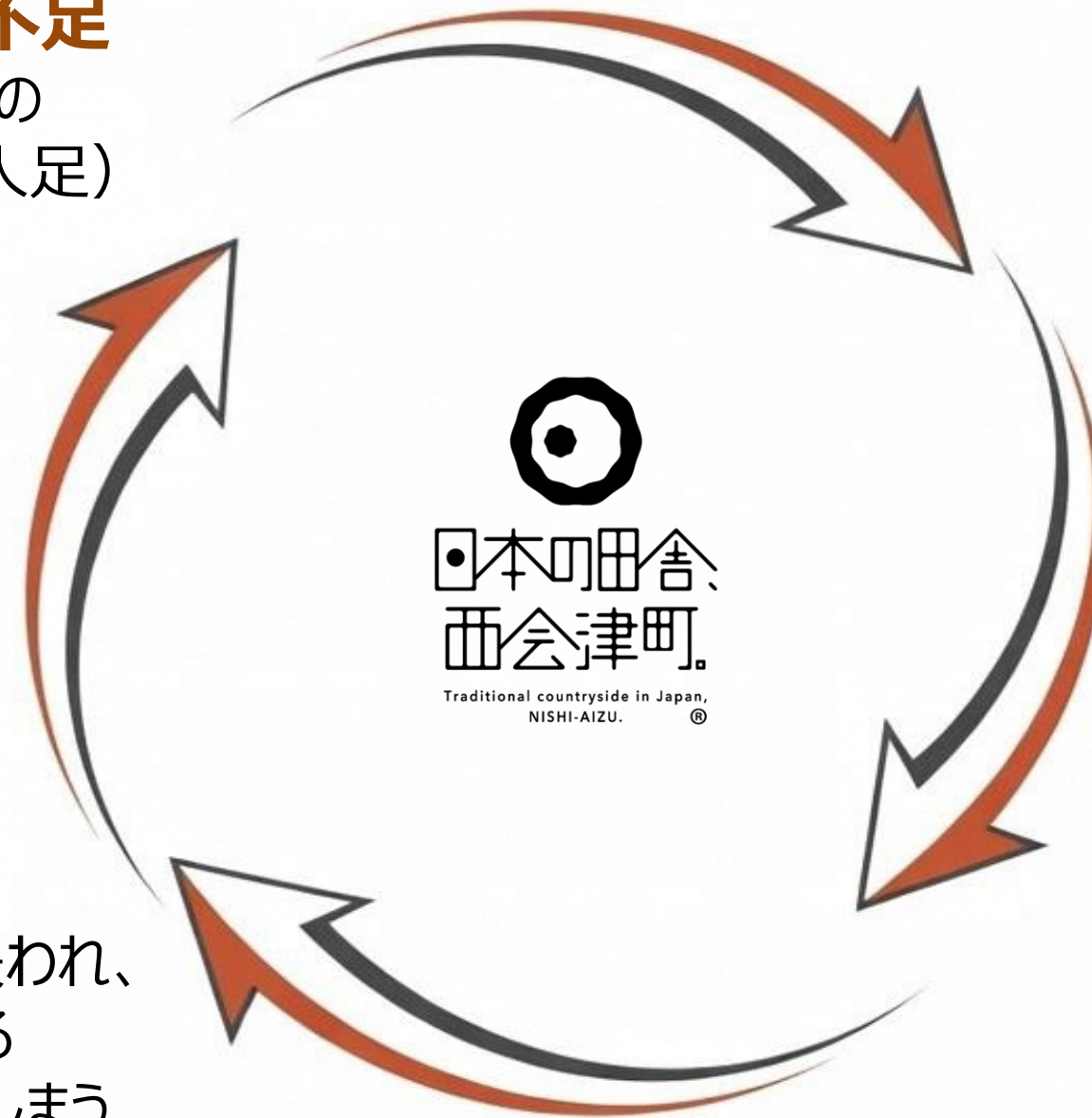
空き家、獣害、倒木、耕作放棄地が増加し、美しい景観が荒れ果てる

## 【Stage 3】暮らしの困難

祭りや行事の中止、文化継承の断絶により、住み続けることが困難になる

## 【Stage 4】心の過疎化

地域に対する誇りや愛着が失われ、さらなる課題の増加へと繋がる  
便利さを求め人が出て行ってしまう



# 成長社会

拡大・正解がある・規格化時代・物質的豊かさ

いかに**決まったこと**を正確に迅速に処理するか

数字的に稼ぐ人や組織で何となく印象が良く当たり障りが無い人が評価

# 成熟社会

縮小・正解がない・多様化時代・精神的豊かさ

いかに**クリエイティブ**に課題に**アプローチ**して納得解を出すか

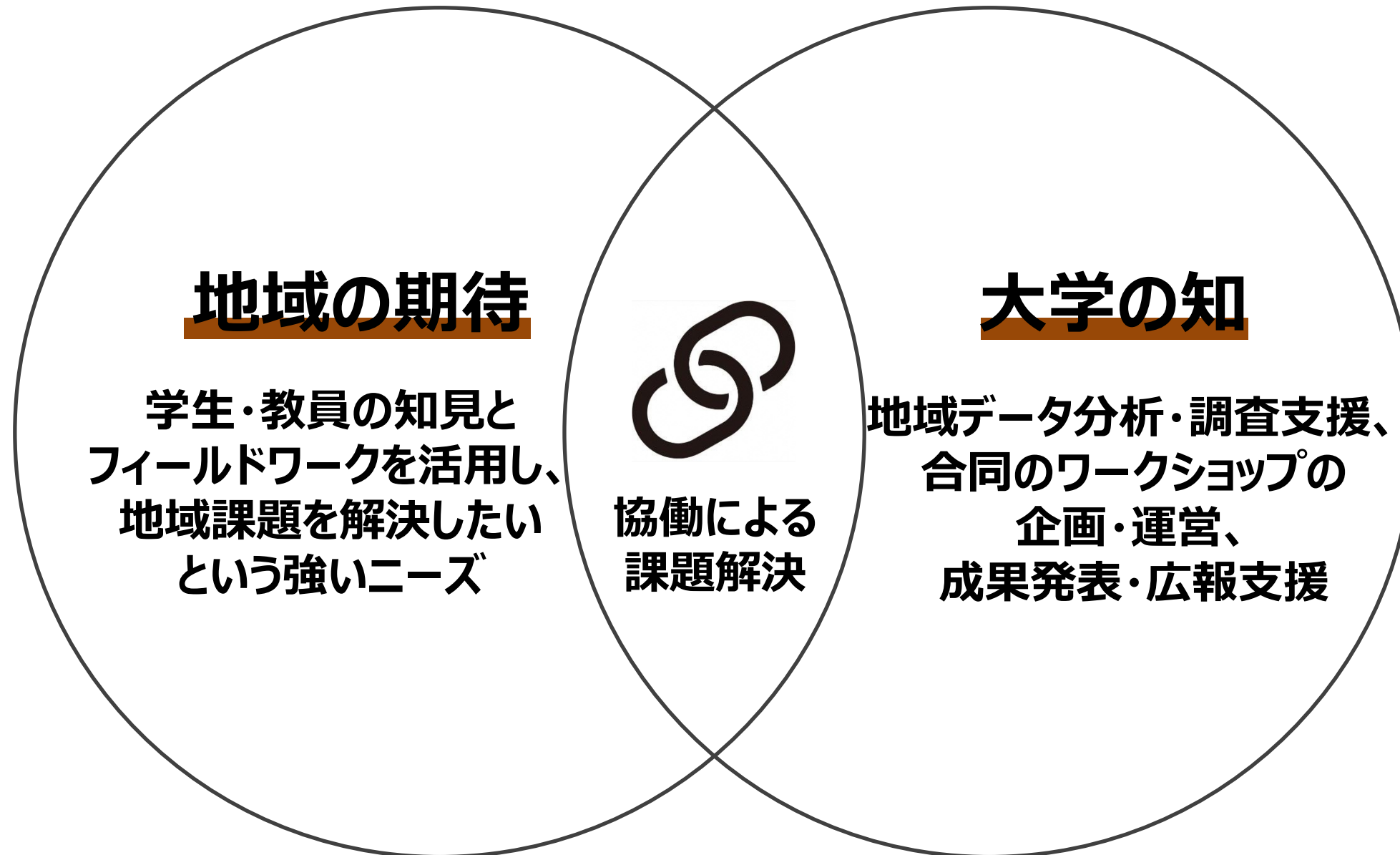
AIに仕事が奪われるため、真の人間力を見られる時代へ

# 辺境からしか生まれないもの

- 都会のように完成されていない = 消費社会ではない**土着**の世界観が残っている
- 誰も正解が分からないから自由な発想でチャレンジできる
- 世界最先端の課題先進地でフラクタル全体に影響を与えられる
- 社会課題に最小単位の現場で取り組んでいる
- 消費社会の中では打ち捨てられてきた人間の**本質**が残っている

# なぜ、東京大学と協働するのか

## 地域の期待×大学の知見



新たな地域モデルを創出する3つのコア・テーマ

# 情熱 共創 伝統

単なる過疎対策ではなく、集落住民の意識改革、失われた地域文化の再生、そして歴史的建造物や耕作放棄地を活用した「**新たな地域モデルの創造**」への挑戦です。

# プロジェクトを推進する「3つの柱」

## 1. 意識醸成

誇りと愛着のある地域づくり  
住民自らの話し合いにより課題  
を抽出し、解決に取り組む



## 2. 相互扶助

相乗効果を生み出す地域づくり  
自治区、老人会、水土里事業  
など多様な主体が助け合う

## 3. 課題解決自ら取り組む

特性を活かした地域づくり  
行政や既存組織では困難な  
事業へのアプローチ

# 仮説1：地域文化の再発見と再デザイン



- 地域の古老への聞き取りやフィールドワークによる文化・歴史の掘り起こし
- 集落に残る暮らしの知恵や土地の記憶の掘り起こし
- 現代的な支援による文化や地域資源の再デザイン
- 集落を次世代に継承するための発信方法や体験プログラム企画

写真：集落支援による訪問の様子

# 仮説2：関係人口による新しい集落維持モデル

「人口が減っても持続可能な集落」のこれまでにない新しいモデルづくり



実践的なフィールドスタディプログラム（案）

- 稲刈り・人足：稲刈り体験や水路の堰上げ等の共同作業
- 収穫祭等の行事：秋の収穫祭や冬の歳の神
- 滞在：築数百年の豪農の古民家を改修した民泊での宿泊

写真：稲刈り（左） 収穫祭（中央） 歳の神（右）



# 持続可能な地域モデルの 構築と未来への展望

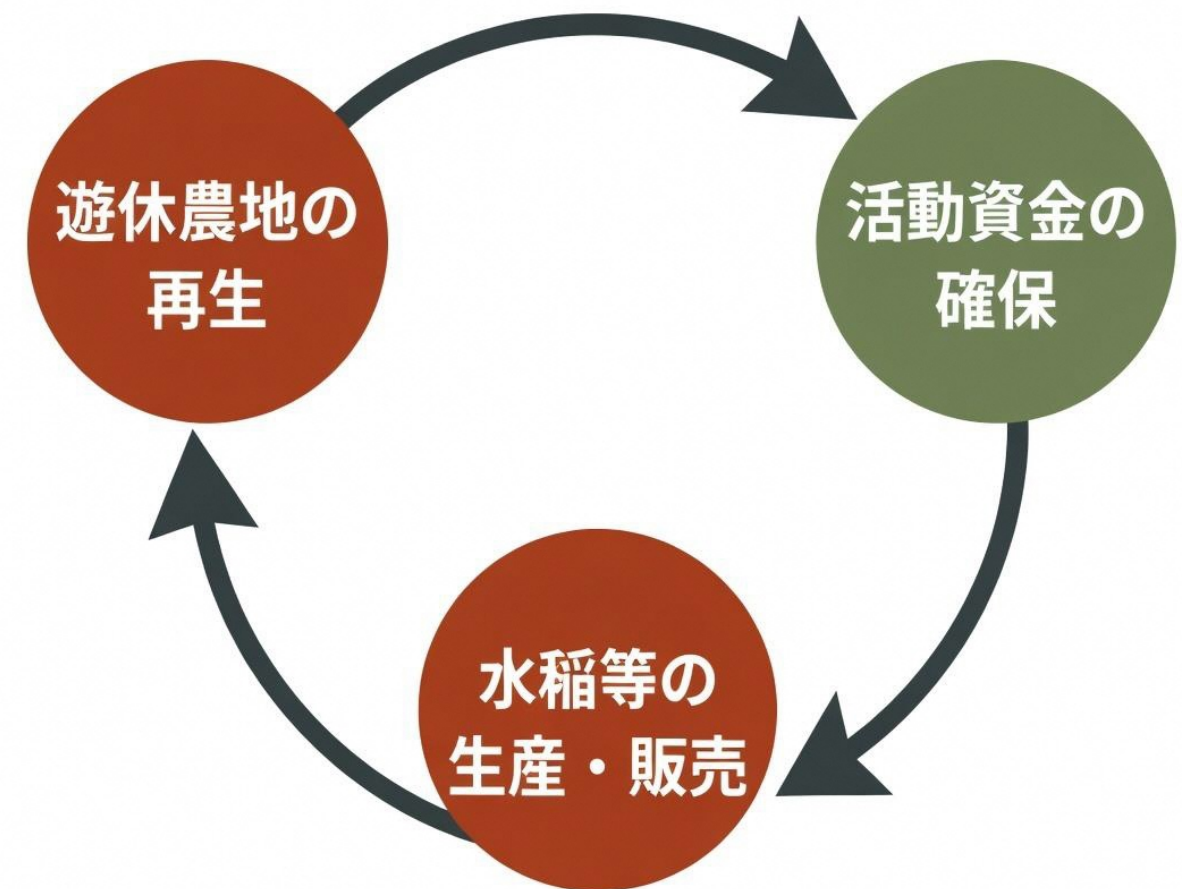
単年度で終わらせない「仕組み化」「モデル化」の推進（学生交代制、地域側運営チームの育成）  
他集落への展開とプログラム標準化  
「関係人口」の維持・拡大（定期交流会、滞在プログラム、地域一学生ネットワークの構築）

写真：かつてのマタギの装束で雪の上を歩く

# 補助金に頼らず自律駆動型の資金を目指す

## 集落活性化の費用は 集落自らが生み出す

**補助金に依存しない持続可能なメカニズム**  
令和8年度より、遊休農地（耕作放棄地）を活用して水稻などの農産物を生産・販売し、プロジェクトの活動財源を自律的に確保するサイクルを構築します。



# 実行へのロードマップと未来への展望

プロジェクト期間（令和8年6月～令和9年3月）

令和8年4月：  
第1回訪問・キック  
オフミーティング

令和8年6月～8月：  
地域資源・課題調査実施  
（ヒアリング・視察）

令和8年10月：  
学生・地域住民による  
合同ワークショップ

令和9年2月：  
成果発表会・報告会

令和8年10月：  
学生・地域住民による  
合同ワークショップ

令和8年11月～12月：  
試作・モデル実証  
（商品・サービス・滞在プログラム等）

## ミライへの展開：

- ・単年度で終わらせない「仕組み化」「モデル化」（学生交代制、地域側運営チーム育成）
- ・他集落への展開とプログラムの標準化
- ・定期交流会等による「関係人口」ネットワークの持続的拡大

# 共に、地域のミライを編む。

よばるか集落再生プロジェクトへの参画をお待ちしております



日本の田舎、  
西会津町。

Traditional countryside in Japan,  
NISHI-AIZU. ®